

令和4年度予算主要事業の概要
(事業別説明資料)

病院管理室



目 次

飛騨市民病院研修医アルムナイネットワークの構築	3
「里山ナース」院内認定制度による看護師の育成と獲得 *	4

注：タイトル末尾に*印がある事業は所属ごとの概要資料のみに掲載しています（*印がない事業は全体版から再掲となります）

新規 飛騨市民病院研修医アルムナイネットワークの構築

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
ゼロ予算	—	—

(前年度予算 0)

2 事業背景・目的

飛騨市民病院では、平成23年度から初期研修医の受け入れを開始し、主体性を尊重する充実した研修内容によりその数は年々増加しており、令和4年度には39名の受け入れを予定するなど、研修医から大人気の病院として認知されるようになりました。

研修医の増加により、常勤医師に加えて単純計算で約3名相当の医師が増加したことになり、医師確保の面でも大きな成果をもたらしています。

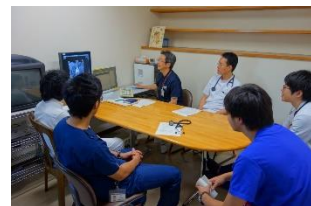
しかし、数多くの研修医が飛騨市で貴重な経験を積みながらも、研修修了後は飛騨市民病院との関係性が途絶えてしまう現状があります。

そこで、飛騨市民病院と医師の関係をつなぐ「研修医アルムナイネットワーク^(※)」を構築し、医師同士の連携強化と知識の共有・蓄積による地域医療の発展につなげるとともに、ネットワーク上で飛騨市（飛騨市民病院）の最新情報を発信し続けることで、若手時代に腕を磨いた第二のふるさとへの愛着を高め、関係・交流の定着を目指します。

※アルムナイネットワーク…本来は卒業生や同窓生を意味し、企業の離職者やOB・OGの集まりを指します。飛騨市民病院では、初期研修医や専攻医として学んだ医師たちのつながりと定義します。

3 事業概要

無料で利用できるSNSやWebチャットツールを活用したネットワークを構築し、飛騨市民病院における初期研修医2年目の地域医療臨床研修期間中から会員登録を呼びかけ、ネットワークを介した先輩・後輩の意見交換、医師による勉強会等の案内、地域医療・プライマリケアの学びあい等の研鑽を積んでいただくとともに、飛騨市民病院の最新レポートや飛騨市の観光・まちづくり等の情報発信も行うことで、さまざまな角度から関係性の持続と発展に繋がります。



担当課：病院管理室管理課 (☎0578-82-1150)

【拡充】 「里山ナース」 院内認定制度による看護師の育成と獲得

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
2,850	一般財源	2,850
		広告宣伝費 1,000
		研究雑費 1,000
(前年度予算 2,000)		その他 850

2 事業背景・目的

超高齢化社会の先進地である飛騨市では、医療の提供のみならず、介護・福祉・予防との継続的な連携を図ることで、高齢者が住み慣れた場所で安心して自立した生活を送れる「地域包括医療・ケア」の推進に取り組んでいますが、その実現には、急性期・慢性期・在宅支援に至るまで質の高いサービスを提供できる看護師の育成が極めて重要です。

このことから、平成30年度に飛騨市民病院内に「人材育成プロジェクトチーム（JIPチーム）」を設置し、地域特性に即した「里山ナース」の愛称を冠して、地域包括医療・ケアに必要なスキルを身につけるための段階的な育成プログラムを開始し、令和元年度には第1段階「SUPER」コースを28名の看護職が修了、令和2年度からは第2段階「HYPER」コースを開講し、モチベーションの高揚とスキルアップを図るとともに、JIPチームによる看護職の募集活動にも積極的に取り組んできました。

令和4年度に開講予定の「EXCELLENCE」コースは、プログラムの最終段階として、認知症、緩和ケア等の認定看護師資格や研修指導者資格の取得を組み込むことで、看護職の資質とモチベーションの更なる向上を図るとともに、診療報酬の加算取得による経営効果にもつなげるなど、広い視野に立つ看護人材の育成と獲得に取り組めます。

3 事業概要

里山ナース院内認定制度「EXCELLENCE」コースを開講し、既存看護師のスキルアップを図るとともに、研修育成制度を通じて「働きたい病院」としての魅力度を高めることで新たな看護人材の獲得へとつなげます。

- ・病院紹介動画のショートバージョンを作成し、里山ナースキャラクターのノベルティグッズとともに広報・採用活動に活用します。
- ・看護部の人的ネットワークを活かし、他病院との相互研修体制に向けた検討を進めるとともに、退職者等（既卒看護師）の人材紹介ルートの構築を図ります。
- ・看護学生の就業先候補に挙がるよう、中部学院大学の実習受入れや富山大学医学部看護学科等との関係強化に取り組めます。

担当課：病院管理室管理課（☎0578-82-1150） 予算書：P.50（病院事業会計）